

食の国際交流と豊かな食生活をめざして

日本通として知られ、ヨーロッパの生活も経験されて、文字通り国際的な味覚を持たれた元米国駐日大使・故ライシャワー博士は、「食の国際交流」が世界中の人々に豊かな食生活をもたらしていることを、当社に寄せたメッセージのなかで述べられています。そしてその例証として、日本人の食生活に欠かせない基礎調味料・しょうゆのアメリカ進出と成功を取り上げています。

また評論家の花田清輝は「真にナショナルなのは、実はインターナショナルである」と喝破しま

したが、まさにしょうゆについて述べているかのようです。

このように一国の食文化が、世界各国の文化に受け込み、新しい食文化として芽生え、成長するとき、人々のより豊かな食生活が育まれるのです。

当センターの活動が、日本はもちろん世界の国々の食の歴史や食文化の紹介にとどまらず、「食の国際交流」と「食育」に少しでも寄与できるよう努めていきたいと思えます。

キッコーマン国際食文化研究センター



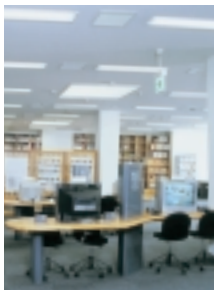
閲覧コーナー



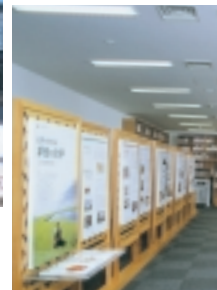
キッコーマンの故郷——野田の町並みに調和させた野田本社



図書コーナー



メディアコーナー



企画展示コーナー

<http://kiifc.kikkoman.co.jp/>

キッコーマン国際食文化研究センター

〒278-8601 千葉県野田市野田250 TEL:04-7123-5215 FAX:04-7123-5218

<開館時間>午前10時～午後5時 <休館日>土・日曜日、祝日、年末・年始、ゴールデンウィーク、旧盆

※詳細は当センターへお問い合わせください。



表紙の解説

山本松谷作「乗客案内郵船図会（昭和女子大学図書館所蔵）

一九〇六年（明治39年）刊「風俗画報・増刊号」に掲載された当時の日本の船内一等食堂の晩餐風景。卓上の料理は洋食で、中央に盆栽が飾られ、紋付袴や和装の日本人や欧米人らしい盛装した婦人と燕尾服の紳士の集団もうかがわれる。また、右端には弁髪（べんぱつ）の中国系の人の姿も見受けられる。「ボーイが手にする献立書（メニュー）」は、洋紙で金碧燦爛たる極彩色の石板刷である。」との注釈が付いている。

